

南郷通18丁目で「もの忘れ外来」を開設

社会医療法人医翔会が運営する「南郷18丁目クリニック」

（札幌市白石区南郷通18丁目北1・20）では、5月から

「もの忘れ外来」を開設した。

診療を担当するのが、札幌

白石記念病院の脳神経外科医である松村茂樹医師。道内で

は早期といえる2012年から、日本認知症学会の専門

医・指導医として、脳神経と

認知症の研究と治療にいち

早く従事してきた人物だ。

「もの忘れの原因を加齢だけ



松村茂樹医師

らと考えていません。2〜3回の診療で治療の必要性や認知症の診断まで行います。早期の受診を」と松村医師。

MRIなど高度な検査が必要な時は、札幌白石記念病院のもの忘れ外来と連携するなど、万全の体制も整えている。

松村医師の外来診療日は、クリニックが月・木曜午後、札幌白石記念病院が、月曜午前・火曜午後となっている。